

薬の飲み方

基本編・家庭の常備薬



健康に関する情報がいっぱい遊びに来てね!

げんき君

<http://www.genki1616.co.jp>



ご不快な思いをされましたら、ただちに責任者までご連絡下さい。
本社フリーダイヤルでもお伺い致します。

☎0120-477955

かちどき薬品グループ

くすり 薬のこと もっと知りたい!!

病気を治す薬も、正しく使用しなければ効果を期待できなかったり、副作用が起こる場合があります。



薬の飲み方で一番大切なのは、
決められた量と回数を
きちんと守ること!



決められた量よりも多く飲んだり、短い間隔で飲むと、薬が効きすぎて体に負担をかけます。逆に少なく飲んだり、間隔を長くあけすぎて飲むと、十分な効果が得られなくなります。お薬は決められた量と回数をきちんと守って服用しましょう。

薬の正しい飲み方



お薬は
コップ1杯 (150~180ml程度)の
水かぬるま湯で
飲んで下さい。



薬は水で飲むのが原則です。

薬が溶けて効果をあらわすためには、**適切な量の水分**が必要です。

また、カプセルは水なしで飲むと食道にくっついて薬がとけ出し、食道の粘膜をいためることがあります。

薬を水で飲むのは薬を飲みやすくするためと、吸収しやすくするためです



注意!

特にお年寄りがお薬を飲む時には十分な水を摂らないといけません。

また寝たきりのお年寄りに薬を飲ませる場合は、体を支えて起こしてあげることも必要です。

-2-

お茶やジュースなどで飲んでもいい?

ほとんどの薬は、番茶や焙じ茶などのお茶で飲んでも問題はありませんが、薬の種類によっては、お茶に含まれているタンニンと薬の成分が結合して、吸収されにくくなることもあります。

またジュースなどで飲むこともかまいませんが、中には影響を受ける薬もありますので、できることなら避け、薬は水かぬるま湯で飲むようにしましょう。



濃い緑茶やジュースはなるべく避けましょう



錠剤やカプセル剤を飲む時の注意

錠剤やカプセル剤の中には大きくて飲みにくい物もありますが、錠剤を割ったり砕いたり、カプセルをはずして飲まないようにしましょう。まず水を少し飲んで喉をうるおしてから、もう一度水を口に含み、薬を浮かべるようにして一気に飲み込むと飲みやすくなります。



-3-



決められた時間に きちんと 服用しましょう

- 起床時：起床と同時に服用します
- 食前：食事のおよそ30分前に服用します
- 食直前：食事の直前に服用します
- 食直後：食事のすぐ後に服用します
- 食後：食事の後、30分以内に服用します
- 食間：食事と食事の間の空腹時のことで、食後2時間を目安とします
- 就寝前：寝るおよそ30分前に服用します



お薬を飲み忘れた時は・・・

飲み忘れてしまった時に、忘れた分をまとめて飲むのは絶対にやめましょう。もし飲み忘れに気づいた時、

次の服用時間が迫っている時は1回分あけて次から服用するか、気づいた時点で服用し、その次の服用時間をずらして服用するという方法があります。また、お薬によって飲み方が違うので、医師または薬剤師に対処法を聞くとよいでしょう。



いろいろな種類のお薬があります



「口腔内崩壊錠」とは

口の中で溶けるように工夫された薬で、水なしで飲むことができるので、外出中など水のない場所でも飲めて便利です。また、「飲みこみづらい」「のどにつかえる」と感じていた方にも飲みやすい薬です。



「トロロ子錠」とは

噛み砕いたり飲み込んだりせず、口の中でゆっくり溶かしながらできるだけ長く口に含みます。口腔や咽頭粘膜の治療に用いられます。中には錠剤に穴があいているものがありますが、これは誤って気管支に入ってしまった時、窒息しないようになっています。



「口腔内付着錠」とは【口内炎の薬など】

口腔粘膜の患部に付着させてその部位に持続的に効かせるようにした薬です。口内炎の薬があります。



とんぶく 「頓服」とは

必要に応じて服用します。痛みがある・頭痛がする・便秘しているなどのように、その症状になった時のみ服用します。

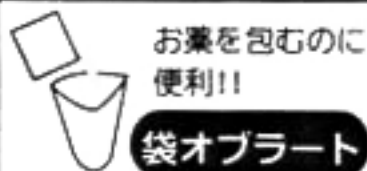
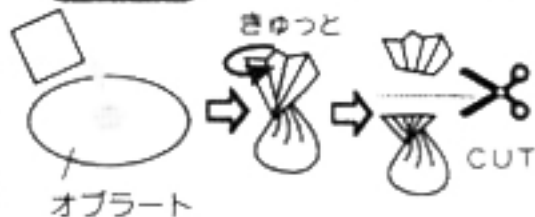
薬が飲みにくい時は…

オブラートを使用する

オブラートは、不快な味の薬を包んで、飲みやすくするものです。オブラートを使用するときは、真ん中に薬を置き、周りを持ち上げ軽くひねるようにして包み込み、余分な部分は切り取ってください。

飲み込む時は、一度水を少し飲んでのどをしめらせると飲み込みやすくなります。

使い方



袋状になっているので、お薬を包む時に、こぼれにくいです。

服薬用ゼリーを使用する

ゼリー状のオブラートで、ゼリーが薬特有の味・ニオイを包み込んで、飲みやすくします。お子様、嚥下困難の方、ご高齢の方におすすめ。水が飲みづらい方の水分補給にも使用できます。

使い方



備えあれば憂いなし

家庭の常備薬

家庭に常備薬を
備えておけば安心です



薬	有効期限
<input type="checkbox"/> 消毒液	()
<input type="checkbox"/> 傷薬	()
<input type="checkbox"/> かゆみ止め薬	()
<input type="checkbox"/> 風邪薬	()
<input type="checkbox"/> 胃腸薬	()
<input type="checkbox"/> 目薬	()
<input type="checkbox"/> 鎮痛剤	()
<input type="checkbox"/> 処方せん薬	()

手当てで使うもの

- 滅菌ガーゼ
- 包帯
- ばんそうこう
- キズテープ
- 脱脂綿
- 湿布

あると便利なもの

- ハサミ
- つめ切り
- 体温計
- ピンセット
- 毛抜き
- 綿棒

薬の使用期限をチェックしましょう